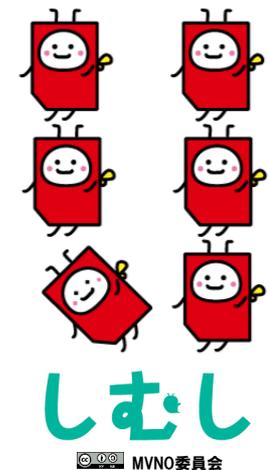


青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関するタスクフォース（第15回）資料

フィルタリングサービスに関しての MVNOの取組みについて

2021年7月19日

テレコムサービス協会
MVNO委員会



1. MVNOの取組について
2. MVNOフィルタリングサービス一覧

MVNOの取組について①

MVNOへの対策の方向性

- 業界の傾向や各社の取組の効果について議論できる環境を作るため、MVNOにおける課題を整理した上、個社名や各社の合算値（業界の数値）を公表すべきではないか
- MVNOにおける加入率及び有効化率の改善が図られるよう、各社のベストプラクティスの知見の共有や横展開を促進する取り組みを検討すべきではないか。

➤ 各社の申込み率ならびに有効化措置率の集計及び公表について

現在、四半期毎にMVNO各社の申込み率ならびに有効化措置率をMVNO委員会にて取りまとめ、青少年TFで社名を伏せて案内させていただいている。今後は、社名ならびに合算値の公表について、まずは、MNOとの算定方法の違いや一部のMVNOのみの結果となる点など、各種課題を整理する。

➤ 各社の有効事例等の共有について

四半期毎の数値ならびに合算値について、MVNO委員会や消費者問題分科会にて各社へ共有を図る。

また、申込率や有効化措置率の改善に対して、個社単位での有効な取組みについて、情報共有だけでなく、勉強会等を通じて、MVNO業界全体での向上につながる活動を実施していく。

MVNOの取組について②

MVNOへの対策の方向性

- 申込手続き上、フィルタリングが原則申込となる画面設定にする等をガイドラインに明示すべきはないか。ただし、MVNOの場合、フィルタリングの提供が有料である場合も多いことから、保護者が有料であることを認識した上で選択できるように留意すること。
- 低年齢層の子供と端末を共有する保護者に対しても、フィルタリングの情報が提供されるよう、スマートフォン等の購入の際に、購入端末について、子供との共有可能性も想定し、フィルタリングの情報を提供するなどの対応を実施すべきではないか。

➤ 業界ガイドラインの見直し

『MVNOにおける青少年へのフィルタリングサービスの加入奨励に関する指針』について、見直しを行い2021年8月に更新予定。

また、各社のガイドラインへの履行状況についても進捗確認を行い、業界全体としての改善を図る。

⇒ガイドラインの見直し案については次ページ

MVNOの取組について：ガイドラインの見直し案①

➤ 利用者確認の徹底について

青少年利用のスマホでのフィルタリングサービスの利用率向上に向け、青少年に関わらず、全ての契約者へ利用者確認及び利用者登録を実施する旨を追加。

● ガイドライン本文修正内容

「**全ての新規契約者に対し**、使用者が契約者本人であるか否かを確認し、青少年使用の有無を確認する」

● 上記に対する「対応例」の追加

「**新規契約申込書及びオンライン申込みページ に、使用者の確認欄を設ける**」

MVNOの取組について：ガイドラインの見直し案②

➤ 子供と共有する場合の注意喚起

低年齢層の子供と共有する場合を考慮して、重要事項説明書等への注意喚起など、契約手続き時に保護者がフィルタリングの必要性を認識できるよう取り組む内容を追記。

● ガイドライン本文追加内容

「さらに、保護者が使用しているスマートフォンを青少年が共有して使用する可能性があることを鑑み、使用者が契約者の場合であっても、フィルタリングサービスの情報ならびに有効性について認識でき、自らの意思でフィルタリングサービスを申込できるよう契約時に情報を提供することが適当である。」

● 上記に対する「対応例」の追加

「保護者が使用しているスマートフォンを青少年が使用する可能性がある場合の注意事項及び対策を重要事項説明書へ記載もしくは契約時に保護者が確認できるよう注意欄を設ける」

MVNOの取組について：ガイドラインの見直し案③

➤ 申込率改善への取組について

オンライン申し込みや利用手続きの際には、フィルタリングサービスの申し込み有無が契約者による選択ではなく、予め申し込み有となる手順とすることを追加。

● ガイドライン本文追加内容

「オンラインでの申し込みや利用手続きの際には、フィルタリングサービスの申し込み有無を選択させるのではなく、予め「申し込む」が選択されている手続き手順とする。

ただし、フィルタリングサービスを有料サービスとして提供している場合は、保護者が有料のサービスであることを認識した上で選択できるように留意する必要がある」

MVNOの取組について：ガイドラインの見直し案④

➤ **フィルタリングの利用向上への取組について**

オンライン契約の場合、有効化措置を保護者自身に実施いただく必要があり、また、有効化措置の実施有無については、保護者からの申告となるため、事業者が自身でアクティベート状況を確認できるよう努力する内容を追加。



● 「対応例」の追加

「フィルタリングサービスの利用状況を把握するために、可能な限り、フィルタリングアプリのアクティベート状況を確認する。未アクティベートの場合、保護者へその旨を通知し、有効化措置の促進を図る。」

MVNO各社のフィルタリングサービス一覧①

アンケート回答のあった10社は全て有料でサービス提供。内、7社がフィルターを提供。複数のサービスを扱う事業者が2社、独自サービスが4社という状況

サービス名 ブランド名	iフィルター	ウィルスバスター	スマモリ	イオンモバイル セキュリティPlus	マイセキュア	TOKAI SAFE	常時安全 セキュリティ24
	デジタルアーツ	トレンドマイクロ	Jsecurity	オリジナル (OEM)	オリジナル (OEM)	オリジナル (OEM)	オリジナル (OEM)
	220円/月						
nuromobile	337円/月						
<i>FiiMO</i>	385円/月						
	385円/月	297円/月	220円/月				
	396円/月						
X-mobile™	396円/月						
	396円/月		165円/月	220円/月			
					275円/月		
LIBMO						440円/月	
NifMo							550円/月

MVNO各社のフィルタリングサービス一覧②

MVNOが扱うすべてのフィルタリングサービスでペアレンタルコントロール及びカスタマイズは可能。一部のサービスでオンオフ機能はなしであるが概ね対応している。

	オンオフ機能	カスタマイズ機能	ペアレンタル コントロール機能	参考 月額
iフィルター	○ ※一時解除	○	○	220～396円/月
ウィルスバスター	×	○	○	297円/月
スマモリ	×	○	○	165～220円/月
イオンモバイルセキュリティPlus	○	○	○	220円/月
マイセキュア	○ ※web経由	○ ※カテゴリ管理	○	275円/月
TOKAI SAFE	○	○ ※個別管理	○	440円/月
常時安全セキュリティ24	○	○ ※個別管理	○	550円/月